

## 富田地区まちづくり基本構想（素案）に対する パブリックコメントの実施結果について

### 1 実施概要

- (1) 募集期間 令和4年3月22日（火）～令和4年4月21日（木）
- (2) 募集方法 持参、郵送、ファクス、市ホームページの簡易電子申込
- (3) 閲覧場所 市ホームページ、アセットマネジメント推進室、行政資料コーナー、各支所、各市立公民館、各コミュニティセンター

### 2 実施結果

- (1) 意見者数 個人：12人 団体：4団体
- (2) 意見件数 44件（持参：13件、ファクス：4件、簡易電子申込：17件、郵送：10件）
- (3) 意見内容

分類	件数
基本構想（素案）に関するもの	—
第1編 富田地区まちづくりの将来像	—
第1章 まちづくり基本構想策定にあたって	3
第2章 まちづくりの現状と課題	7
第3章 まちづくりの将来像	4
第4章 まちづくりの基本方針	1
第2編 富田地区公共施設再構築	—
第1章 富田地区公共施設再構築への取組	12
第3編 富田地区まちづくり基本構想の推進	—
第1章 新たな公共施設の整備に向けて	10
第2章 新たな公共施設を核としたまちづくり基本構想の実現に向けて	4
その他個別の施策等に関するもの	3
合計	44

### 3 提出意見に対する市の対応

別紙のとおり。ただし、提出されたご意見のうち、高槻市情報公開条例第6条に規定する非公開情報に該当する部分は除いています。

富田地区まちづくり基本構想（素案）に対するご意見の要旨と市の対応一覧

No.	ページ [( )内は 完成版]	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
1	2 (2)	1 策定の背景・ 目的	<p>当初の基本構想の目的であった「第四中学校区施設一体型小中一貫校」の役割についても明記し、校区住民の理解と連携が求められる事から引き続き検討という姿勢を基本構想でも明確にすべきと考えます。</p> <p>策定の背景として</p> <p>①「21世紀の社会を生き抜く力（社会参画力）の育成と9年間の一貫した学習指導・生活指導・地域連携に取り組む事により『開かれた教育課程』を実現するための義務教育学校が創設されるなど新たな試みが生まれてきています」を挿入。</p> <p>②「平成28年10月の『小中一貫教育学校の在り方について（答申）』では、施設一体型小中一貫校の設置と第四中学校区での教育内容面での取り組みが評価されている。こうしたことから、第四中学校区においては『施設一体型小中一貫』『キャリア教育』『地域との協働』研究拠点校としての役割も期待されています」を挿入。</p> <p>③「しかし、施設一体型小中一貫校については校区住民の十分な理解と連携がより求められることから、引き続き検討を重ね、子どもたちも参画する中で改めて『地域で育ち、地域で活躍する子どもを育て 学びの拠点』づくりへ課題整理を行う事が必要である」を挿入。</p> <p>④これらを踏まえ、地域の方々と街の将来像を共有しながら、富田地区の特性を活かした持続可能なまちの実現を図るための後に、「本構想では」を挿入。</p>	<p>本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。教育に関するご意見については、本構想から切り離し、別途慎重に検討を進めることとしているため、原案どおりとさせていただきます。</p>	原案 どおり
2	5 (5)	3 対象区域	<p>この構想における赤大路地区の位置づけに疑問を感じます。阪急以南の計画は進んでいますが赤大路地区で対象となっている公共施設は赤大路コミュニティセンターのみで、しかも長寿命化を図る計画です。赤大路地区はJRと阪急によってそれ以南と分断されていてバス路線もなく、徒歩で移動するには（特に高齢者には）距離が長く危険な踏切もある現状では富田地区まちづくり構想の中に赤大路地区を設定するには問題があると思います。</p>	<p>公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を検討する上で、一定の範囲で、各公共施設の現状把握や方向性を検討することが、効果的なまちづくりにつながると考えたため、当該範囲としています。</p>	原案 どおり
3	5 (5)	3 対象区域	<p>対象範囲が「都市拠点（富田駅周辺）に加え第4中学校区」ですが、JR摂津富田駅以北のまちづくりについて、どう考えているのかよくわからない。JRと阪急にわかれた南と北のつながり、交流はどう図るのか、提案があれば明らかにしてほしい。</p>	<p>公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を検討する上で、一定の範囲で、各公共施設の現状把握や方向性を検討することが、効果的なまちづくりにつながると考えたため、当該範囲としています。</p>	原案 どおり

No.	ページ [( )内は 完成版]	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
4	11 (12)	2 暮らし・コミュニティ	コミュニティ協議会組織は2地域に別れているが、中学校区コミュニティとしての活動も紹介していただきたい。  「また、校区をまたいで中学校区および公共施設とが一体となったフェスタ・ヒューマンライツの開催や高槻市人権まちづくり協会第四中学校区地区単位会（富田・赤大路地域人権教育推進委員会）による人権啓発など校区全域を対象とした活動もなされています。」を挿入。	ご意見を踏まえ、「その他、中学校区及び公共施設が一体となったフェスタ・ヒューマンライツの開催や人権啓発など、校区全域を対象とした活動も行われています。」を挿入します。	一部修正
5	12 (13)	2 暮らし・コミュニティ	今回の基本構想策定過程で明らかになった特定の地域に対する許しがたい偏見と差別事象を今後のまちづくりの課題として踏まえる必要がある。  課題2項目目の「歴史・文化の継承やまちづくりの推進が継続して行えるよう支援する環境づくり」の前に、「人権の尊重」を挿入。	ご意見を踏まえ、課題2項目目の「歴史・文化の継承やまちづくりの推進が継続して行えるよう支援する環境づくり」の前に、「人権の尊重、」を挿入します。	一部修正
6	13 (15)	3 地域資源・にぎわい	富田地域に伝わる伝統ある取り組みを後世に残していくためにも以下の記載も要望。  ①けさたんと会による「酒蔵見学会」の後に「桜祭り」「灯籠まつり」も挿入。 ②富田自治会連合によるまちかど遺産巡り「歩学」の後に、「『地蔵盆スタンプラリー』および富田まち・くらしづくりネットワーク等による『富田富寿栄盆踊り大会』の開催」を挿入。	各種取組については、地域住民の主体的な活動として、P12に「富田地区における祭り・イベントの事例」として掲載しております。	原案どおり
7	16 (17)	4 西部の都市機能	「鉄道による分断された市街地の一体化」は、より改善が急がれる。阪急富田踏切の遮断時間をより短縮すること、赤大路踏切の安全のための拡幅も必要である。  説明 幹線道路の混雑や駅周辺の狭さによる危険は、安全なまちづくりを阻んでいる。高槻市のみでの努力に依ることではないと思うが、安心してスムーズな移動ができることは街づくりの基本。それが実現されないと「にぎわいづくりを育み、地域内外へと広げていく」ことにはならないと考える。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。各分野の現状と課題については、主なものを記載しており、ご意見については、関係部局等と連携し取り組んでまいります。	原案どおり
8	16 (17)	4 西部の都市機能	交通課題について「富田地区交通まちづくり基本構想」をふまえ、より具体的に明示する必要があると考えます。  「しかし、鉄道により地域が分断されていることや、鉄道と道路の交差点において歩道が整備されていないなど」の部分で「JR京都線・阪急京都線が地域を南北に分断し「開かずの踏切」と称される踏切が多数存在することやJR京都線アンダー部に象徴される府道鳥飼八丁富田線の未整備などの交通課題が山積しています」と具体的に詳述。	ご意見については、表現を分かりやすくするため、「鉄道により地域が分断されていることや交通渋滞の発生に加え、安全で快適な歩行空間の確保など交通課題が残ります。」に一部修正します。	一部修正

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
9	16 (17)	4 西部の都市機能	魅力的な施設を整備するのはもちろん重要だが、そこへのアクセスや、事故防止のためには富田村踏切やJR高架下道路の安全確保が重要だと考える。まちの中心となる道路は拡充されたが、阪急とJRのあいだの道路の混雑は解消されない。歩行者、交通弱者の安全確保を考えてほしい。とりわけJR高架下を、拡幅は難しくても通り易いよう側溝や路面の凸凹をなくすべき。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。各分野の現状と課題については、主なものを記載しており、ご意見については、関係部局等と連携し取り組んでまいります。	原案 どおり
10	17 (18)	5 学び・子育て	文科省が掲げる「コミュニティスクール構想」等、地域と協働した取り組みが重視される中、施設一体型の是非はともかく、構想としては地域と共に歩む小中学校教育の位置づけを明確にしておくべきと考えます。  新たに「教育の現状」または「小中学校の現状」の項を起こし、 ①第四中学校区における文部科学省研究開発校としての取り組み ②連携型小中一貫校、「総合的学習・いまとみらい科」等の取り組みを現状として評価記載すべきと考えます。 ③課題として、「地域が一体となった子どもたちの学びを支える環境づくり」を挿入。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。教育に関するご意見については、本構想から切り離し、別途慎重に検討を進めることとしているため、原案どおりとさせていただきます。	原案 どおり
11	20 (22)	1 将来像の考え方	今回の基本構想策定過程で明らかになった特定の地域に対する許しがたい偏見と差別事象を今後のまちづくりの課題として踏まえる必要がある。  「公共施設の再構築等のハード整備に加え」の後、「人権尊重や」を挿入し「住民同士の協働を育むまちづくり」と続ける。	ご意見を踏まえ、「公共施設の再構築等のハード整備に加え」の後、「人権尊重や」を挿入します。	一部修 正

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
12	20 (22)	2 まちづくりの コンセプト	<p>これまでにオープンハウスやHP上で高槻市の小中一貫化構想や公共施設再編計画について拝見してまいりました。</p> <p>富田地区のまちづくり基本構想についてですが、摂津富田駅の北側地域については、もっと大胆な視点から、思い切った再開発のプランを検討されてもいいのではないかと思います。</p> <p>一案としてですが、吹田に続く独自のSSTを、高槻のこの素晴らしい立地で実現できないでしょうか。</p> <p>摂津富田駅北側には、吹田SSTをけん引するパナソニック社の広大な敷地があり、四中の敷地を挟んで、高築年数のマンションが2カ所あります。</p> <p>四中も今後の小中一貫校の動向次第では、全面的に開発の対象にできる敷地と思われるます。</p> <p>学区はやや外れますが、川をまたいで直線距離では徒歩圏内に大規模なスポーツジム施設もあり、健康維持施設としての役割を含め、そのあたりまでをSSTの範囲に含むのであれば、吹田SST以上の規模を望めるかもしれません。</p> <p>何よりも立地条件の良さでは、吹田SSTをしのぐことは間違いなく、防災拠点としても地域に有益なスマートタウンの建設は、高槻市全体の魅力と価値を高め、若い世代からも支持を得られると思われまます。</p> <p>パナソニック社は地元での歴史も長く、住民にとってなじみの深い会社であり、吹田だけではなく、関東でも綱島・藤沢の自社工場跡地においてSSTの実績があるようです。</p> <p>吹田SSTにおいて掲げられている、「多世代居住型の健康スマートタウン」というコンセプトは、現在の富田まちづくり構想と完全にフィットするものであり、その吹田を超える魅力を備えた高槻独自のSSTプランは、検討に値するものではないでしょうか。</p> <p>また、当方居住のマンションも含め、摂津富田駅周辺に存在する高築年数の中～大規模マンション2箇所の建替問題も、テナントや市営駐車場、福祉・防災拠点としての公的活用なども考えあわせ、同時に解決できるかもしれません。</p> <p>現状、とても便利なロケーションでありながら、これまでのまちづくりの施策が富田駅南側に集中し、国道方面からの玄関口でもある北側については、いつまでも古い店舗や民家がバランス悪く並び、公的駐車場も無く、不便であか抜けない印象を否めません。</p> <p>これまでのまちづくり構想からは斬新すぎるかもしれませんが、吹田SSTに続く、高槻SSTのプランを摂津富田駅北側地域についてご検討いただければと思い、提案させていただきました。</p>	<p>本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	原案 どおり



No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
13	20 (22)	2 まちづくりの コンセプト	私は東五百住町という、富田の郊外にずっと住んでいます。最寄り駅は高槻よりは富田です。富田地区は富田だけで文化を栄えさせることができるかもしれませんが、東五百住だけで何かするのはむしろ難しい面があります。東五百住のような、富田周辺の住宅地のことも忘れず、富田とともに人との交流が生まれるように働きかけていただけたらありがたいです。	公共施設の再構築を機に、誰もが気軽に訪れやすく、世代を超えてつながる「まちなりびんぐ」となる拠点施設の整備を目指します。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり
14	21 (23)	2 まちづくりの コンセプト	第四中学校区における研究開発プログラムの成果である「いまとみらい科」の重点は「地域ぐるみの学びを推進し、子どもたち自らが地域社会に参画する」ことです。まちづくりコンセプトとして「社会参画力」をキーワードとして活かしてほしい。  3 学び・子育ての「地域ぐるみの学びを推進し、子どもの豊かな心を育みます」を「地域ぐるみの学びを推進し、子どもの豊かな心と社会参画力を育みます」に書き換え。	本構想では、地域の方々ともちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。教育に関するご意見については、本構想から切り離し、別途慎重に検討を進めることとしているため、原案どおりとさせていただきます。	原案 どおり
15	23 (25)	2 地域資源・に ぎわい	新たな公共施設の候補地である「A敷地」への市バスの運行をご検討ください。市内を地区で12分割した際に、富田地域包括支援センターの圏域であるこの地域は市内で4番目に高齢化率が高い地域です。富田支所より西の地域はバス路線もなく、かつ南から北へと登り坂で、高齢者・障がい者が歩くこと、車イスを利用して登ることに適しません。かつ、踏み切りや旧ダイエー近くの線路下の道は細いため、富田と赤大路の行き来がしづらい、地区外へと抜けにくい地域です。 ”歩いて巡りやすい、回遊性のある地域をつくります”は”歩けない人は巡りにくい地域を市税を使って作ることとなります。ハンデのある方への合理的配慮を欠いた表現だと思います。歩けない方、歩きにくい方も社会参加しやすいまちづくりを望みます。”誰一人として取りこぼさない”というSDGsの理念に基づいた箱モノ作り、まちづくりをお願いします。 人の流れを呼び込むシステム・環境が整わないと、市内各老人福祉センターのように、同じ人だけが利用し、利用率が低いと同じことがくり返されるのでは、と心配です。	本構想では、地域の方々ともちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示すもので、バス路線等に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。 また、誰もが気軽に訪れやすく、世代を超えてつながる居場所をつくり、高齢者や障がい者などすべての人々が、地域の中で支え合いながら、生き生きと暮らし続けることができるまちを目指します。	原案 どおり
16	35-39 (37-41)	2 公共施設の現 状と方向性	公共施設である、「高槻市立富田ふれあい文化センター」は条例や使用者登録要領によって利用方法に制限がある。  説明 高度経済成長期には、1969年に策定された人権啓発対策に関わる特別措置法による事業の一環として、地域住民の福祉の向上、住民交流のための諸施設が整備され、市営富寿栄住宅も整備された。 建設当初から一部特定運動団体の独占管理を行政が認め、法で定められた公共施設の利用を逸脱していた。国策としての特別措置法の事業は終了し、特別施策はなくなったにもかかわらず、「人権啓発」といううたい文句の下、利用者の対象、利用方法を限定していることにより、広く市民が利用できず、施設の稼働率が低いと考える。	新たな公共施設については、世代を超えて多様な人々がつどい、交流を育むことができる施設を目指します。また、施設の運用や使われ方については、今後の計画段階で検討します。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
17	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	今回の構想で駅北地区と駅南地区を各種統合検討されているようですが、人口が多く、今後も急激な人口拡大可能性が高い駅北地域から小学校、中学校、コミュニティセンターを無くそうとすることは民主的視点からあり得ないことだと思います。今後建物の寿命が来た時に複合化を検討ということですが、その場合は住民の利便性や災害時の対応等を考えて、駅北と駅南を分けてご検討いただきたくよろしくお願いたします。	個別施設の更新の際には、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、施設利用者や市民ニーズを把握しながら、適切に対応します。	原案 どおり
18	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	赤大路コミセンについて富田支所等富田地区の施設と一体のグループとして「当面は長寿命化を図り」「個別施設の更新に際しては～複合化 などの検討を行います」とありますが、これは、近い将来赤大路地区からコミセンの機能が奪われることも否定しないという市の意図を表明するもので、赤大路地区住民としては絶対に許容できません。	赤大路コミュニティセンターについては、耐震改修や維持補修等を行っており、利用者の限定もなく多世代が利用できる状況にあることから、当面は長寿命化を図り、地域の活動拠点として、引き続き使用していくこととしており、現時点において、ほかの3施設と一緒に検討を行うものではありません。なお、個別施設の更新に際しては、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、施設の利用者や市民ニーズを把握しながら適切に対応します。	原案 どおり
19	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	そもそも「赤大路地区」を「富田地区」に一方向的に包含して構想名とし、赤大路地区からコミセン機能を富田側に奪う可能性すら排除しない計画を赤大路地区住民に対する十分な説明や議論の場もなく突然出してくる時点で今回の構想は異常です。	赤大路コミュニティセンターについては、耐震改修や維持補修等を行っており、利用者の限定もなく多世代が利用できる状況にあることから、当面は長寿命化を図り、地域の活動拠点として、引き続き使用していくこととします。なお、個別施設の更新に際しては、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、施設の利用者や市民ニーズを把握しながら適切に対応します。	原案 どおり
20	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	そもそも本構想の最大の課題は「富田地区」（正確には富田小学校区）に公共施設がなぜか過剰に存在することです。昨年杜撰極まりない本構想の内、四中校区保護者住民の反対によって施設一体型小中一貫校構想が中止に追い込まれて以降、赤大路地区を無理やり富田地区の利益のために巻き込む必要はさらになくなっていきますので、今回の構想から赤大路地区をはずすか、「赤大路地区からコミュニティセンター機能を奪うことはない」旨明記してください。	赤大路コミュニティセンターについては、耐震改修や維持補修等を行っており、利用者の限定もなく多世代が利用できる状況にあることから、当面は長寿命化を図り、地域の活動拠点として、引き続き使用していくこととします。なお、個別施設の更新に際しては、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、施設の利用者や市民ニーズを把握しながら適切に対応します。	原案 どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
21	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	<p>①赤大路コミュニティセンターは長寿命化して継続されますが、更新に際しては複合化などの検討を行うとされています。その時期は30年後との委員会での答弁もありはっきりしていませんが、いずれにしてもその時は地域住民の意見を十分聞いてください。地元のコミュニティー協議会や自治会はもとより住民が参加できる説明会を開いてください。</p> <p>②西部地域保健センターは廃止し機能は保健センター及び子ども保健センターに統合するとの計画ですが、種々検診やコロナのワクチン接種会場としても利用される施設が遠方に移されるのは大変不便です。各種検診などを近くの施設で受けられるように配慮をお願いします。</p>	<p>1点目のご意見については、赤大路コミュニティセンターについては、耐震改修や維持補修等を行っており、利用者の限定もなく多世代が利用できる状況にあることから、当面は長寿命化を図り、地域の活動拠点として、引き続き使用していくこととします。なお、個別施設の更新に際しては、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、施設の利用者や市民ニーズを把握しながら適切に対応します。</p> <p>2点目の西部地域保健センターに関するご意見については、原則としてサービス継続としており、今後、同センターで行っている事業の実施の方法について検討します。</p>	原案 どおり
22	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	<p>機能面では「原則としてサービス継続」、考え方では「現在の運営状況を踏まえ機能は保健センター及び子ども保健センターへ統合し施設は廃止する」とあるが、富田地区にできる新しい公共施設で、保健センターのサービスを継続する中に、乳幼児健診などの母子保健関係のサービスを行うべき。富田や赤大路など、高槻の西の地域は、子ども未来館は遠すぎて大変。母子保健センターが市内に1か所で、しかも市の端っこにあったら、住んでいる場所によっては利用しにくいので、乳幼児健診が負担。すぐに育児相談もできない。高槻をもっと子育てしやすい街に！</p>	<p>本構想では、地域の方々ともちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。西部地域保健センターに関するご意見については、原則としてサービス継続としており、今後、同センターで行っている事業の実施の方法について検討します。</p>	原案 どおり
23	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	<p>西部地域保健センターは、廃止ではなく残して機能充実すべきです。</p> <p>理由 市の副都心としての地理的な位置づけや、昨今のコロナ感染症の流行における保健所の役割の重要性から、出張所としての機能を充実させるべきです。またアクセスの面から西部地域には必要です。</p>	<p>本構想では、地域の方々ともちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。西部地域保健センターに関するご意見については、原則としてサービス継続としており、現在の運営状況などを踏まえ、機能は関連施設へ統合し、施設は廃止することとしています。</p>	原案 どおり



No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
24	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	西部地域保健センターは、廃止ではなく、全国市長会の特別提言にもあるように、「子ども・子育て支援、児童自立支援、高齢者支援、生活困窮者自立支援、障害者支援といった福祉施策に関する情報が地域の中で共有でき、包摂的な体制となるような仕組みが必要である」といった形で再構築できないのでしょうか。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。西部地域保健センターに関するご意見については、原則としてサービス継続としており、現在の運営状況などを踏まえ、機能は関連施設へ統合し、施設は廃止することとしています。	原案 どおり
25	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	3歳のころから29歳の今までヘビーユーザーです あの美しい建物と池を眺めながら本を読める空間をこれからもよろしくお願いします	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり
26	72-73 (74-75)	2 公共施設の現 状と方向性	西部の市役所としての行政の窓口事務を、富田公民館から新しい公共施設に移設させる。  富田支所は、富田地区住民だけではなく隣接する地域からも使用されている。地区内外からのアクセス、回遊性のある地域づくり、防災機能、を考えると、行政サービスは新たな公共施設で行う方が良いと思う。現在の富田支所のあとは、公民館として設備を充実させることは勿論である。	第2編では、当該地区にある12の公共施設の現状と方向性をお示しし、第3編では、富田ふれあい文化センター、富田青少年交流センター、富田老人福祉センターを統合した新たな公共施設の整備に向けた考え方を示しております。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり
27	74-77 (76-79)	3 新たな公共施 設の候補地の検討 と選定	図中では富田小学校について、地域資源(都市公園・神社仏閣等)として表現され、また、小学校を横断するように回遊導線が描かれています。これは富田小学校が廃校となり、公園等として再利用される選択肢があるという可能性を示すものなのでしょうか。富田小学校の継続、または、現富田小学校敷地への小中一貫校設置を希望します。赤大路小学校や第四中学校へ統合されるなどして、富田小学校が廃校になるとJR・阪急以南の小学生は、踏切を渡る都度、危険に晒されることが理由となります。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示しております。教育に関するご意見については、本構想から切り離し、別途慎重に検討を進めることとしているため、原案どおりとさせていただきます。	原案 どおり
28	82 (84)	2 施設イメージ	新たな公共施設は多機能を生かし、高槻市民、地域住民なら誰でも制限なく利用できる施設にする。  理由 施設設置の条例や使用登録要領により、利用対象や利用方法が制限されているので、新施設複合化・多機能化を機会に管理、運営のあり方を見直すべきであり、現在の隣保館としての位置付けは廃止すべきである。	新たな公共施設については、利用者が屋内外それぞれの場所で思い思いに過ごすことができる、「まちのリビング」となる拠点施設を目指します。また、施設の運用や使われ方については、今後の計画段階で検討します。	原案 どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
29	82 (84)	2 施設イメージ	概念としては大変良いのですが、実際の運営などについては未知数です。いかに利用しやすくするのが大切だと思います。そのために、煩雑な手続きや予約なしに利用できること、子どもでも申し込みや利用ができること、そのために必要な職員を配置する事を要望します。また現在は駐車場が無いため利用に困難をきたしています。無料の駐車場をつくることを要望します。	ご意見については、今後の事業実施に当たって参考とさせていただきます。	原案 どおり
30	82 (84)	2 施設イメージ	ふれあい文化センターをよく使っている者です。今後も無料で借りやすく、かつ色々な人たちと交流ができる場であることを望みます。建て替えるときは広い部屋たくさん作ってほしいです。	ご意見については、今後の事業実施に当たって参考とさせていただきます。	原案 どおり
31	82 (84)	2 施設イメージ	富田支所からJR摂津富田に行く道は整備され、皆に愛される明るい街になったと思います。しかし、西部保健センターがある地域は老朽化が目立ち薄暗い雰囲気です。なので、安満遺跡公園の小さいバージョンの公園と施設を作ってはどうでしょうか。食料危機もあるため、対策もかねて老若男女楽しめる貸し農園も作って頂けると利用する人も多いと思います。	ご意見については、今後の事業実施に当たって参考とさせていただきます。	原案 どおり
32	82 (84)	2 施設イメージ	公園はたくさんありますが、ボール遊びできる場所が少ないのでバスケットボールができる敷地とバスケットゴールを設置してはどうでしょうか？八尾にある公園では若者がバスケットボールを楽しそうにしていました。大型遊具も少ないので、小学生高学年の子も楽しめる大型遊具のある公園も作ってみてはどうでしょうか。小学生高学年～20歳くらいの子が駅前に行かなくても楽しめる運動広場があるといいなと思います。	ご意見については、今後の事業実施に当たって参考とさせていただきます。	原案 どおり
33	82 (84)	2 施設イメージ	富田は災害被害が起こりにくい地域なので、災害が起こった場合の避難所とするのもいいと思います。人が大勢集まれる大きめの公園に、核シェルターを作りたいです。現在の情勢だと、話題性はあるとも思います。	今後検討を進める新たな公共施設については、平時に利用する設備や機能が災害時にも効果を発揮できるよう計画し、柔軟に活用が可能な「フェーズフリー」の考え方を取り入れた施設を目指します。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
34	88 (90)	4 安全・安心	<p>「A敷地」にできる建物に福祉避難所の機能をお願いします。H30年6月の大阪北部地震、9月の台風では、富田の周辺でも断水や停電が発生し、高齢者・障がい者のご本人・ご家族から「こんな体で避難所に行けない。この家で死ぬのかと思った」との声を多数聞きました。富田地区は公民館・小学校など避難所はありませんが、福祉避難所はありません。府立特別支援学校は避難所の認定もありません。</p> <p>新たな公共施設の「A敷地」の建造物には、高齢者・障がい者の誰もが災害時に避難できるよう、福祉避難所の機能を備えてほしいと思います。</p> <p>災害時に「このまま家で死ぬかもしれない」と高槻市民が思うことのないように、「あそこまで逃げたら生きられる」と市民誰もが思えるような地域づくりが大切です。</p> <p>高齢者や障がい者など、すべての人々が生き生きと暮らし続けられるように、“誰ひとりとして取りこぼさない”というSDGsと合理的配慮がなされたまちづくりを望みます。</p>	これから検討を進める新たな公共施設については、多様な来館者が利用できるようバリアフリーに対応した施設とし、平時に利用する設備や機能が災害時にも効果を発揮できるよう検討を進めていきます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり
35	89 (91)	3 新たな公共施設の事業手法	PPP/PFI手法の導入を検討されているようですが、民間に丸投げすることなく適切に市の職員を配置し、あくまでも公共施設として活用することを優先してください。	ご意見については、今後の事業実施に当たって参考とさせていただきます。	原案 どおり
36	89 (91)	3 新たな公共施設の事業手法	<p>民間活力導入にあたって、今後の余剰地活用を含めた「まちづくりの一環としての公共施設整備」を検討するなど事業手法の指針が必要。</p> <p>「『人と人 人と地域をつなぎ 共に育む地域拠点』としてのコンセプトを活かしたPPP公民連携の検討」を挿入。</p>	第3編で示した新たな公共施設の検討については、本構想の考え方を踏まえて今後検討を行います。	原案 どおり
37	90 (92)	4 新たな公共施設の事業スケジュール	<p>まちづくりに地域住民自らが主体的に関わることが基本でありより具体的に反映できることが重要と考えます。</p> <p>また、「設計の各段階においても、引き続き地域住民との意見交換」の後に「ワークショップ開催など多様な住民意見の反映を通した施設づくり」を挿入。</p>	新たな公共施設の整備については、P90の新たな公共施設の事業スケジュールでも記載しているように、設計の各段階においても、地域住民との意見交換等に取り組みます。	原案 どおり
38	91 (93)	第2章 新たな公共施設を核としたまちづくり基本構想の実現に向けて	<p>「構想」を施策化していくための次の手順「基本計画」「実施計画」を示しておく必要がある。</p> <p>「なお、具体化にあたっては今後『基本計画』を策定しその具体化を図ります」を追記。</p>	新たな公共施設を核としたまちづくり基本構想の実現に向けてについては、P90の「4 新たな公共施設の事業スケジュール」及びP95の「2 余剰地の利活用による今後の展開」でお示ししているように、段階的に決定していくこととしています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	原案 どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
39	93 (95)	1 余剰地の利活用	<p>(仮称)富田認定こども園は在籍児童数が約200名と予想されており、現有敷地では十分な敷地が確保されているとはいえない。認定こども園化に伴い、在籍園児への十分な保育環境整備が不可欠。</p> <p>また、西部地域保健センター立体駐車場について機能を有しなくなることから解体除却方針を示すべき。</p> <p>①富田老人福祉センター備考欄が空白ですが、「多機能施設複合化」による「現敷地跡地について(仮称)富田認定こども園との一体化」を挿入。未利用地(元富田ひかり診療所および付属駐車場)についても「除却、富田認定こども園との一体化」を挿入。</p> <p>②西部地域保健センター備考欄「『(仮称)富田認定こども園との一体化』に合わせ、立体駐車場の処分」を挿入記載。</p>	<p>本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示すもので、就学前児童施設に関するご意見については、関連計画において検討します。</p>	原案 どおり
40	94 (96)	1 余剰地の利活用	<p>市有地売却時に一部で見られるような個別入札方式はまちの統一感を喪失させ、地域に住む住民はもとより地域のまちづくりに弊害をもたらす危険性があります。コンセプトに基づいた新たな「まちびらき(コミュニティ再生)」の視点で余剰地の利活用が図られるべきと考えます」</p> <p>民間活力の導入にあたっては、幹線道路、回遊道路を活かしながら富田地区のまちづくりコンセプトに基づく全体像を明確にしたまちづくりの視点を重視し、ゾーニングを図るなどの全体計画による公民連携手法を検討します」を挿入。</p>	<p>余剰地の利活用については、第3編第2章にお示ししているように、幹線道路に近接している余剰地や、既存住宅が密集している中の余剰地など、立地の状況を勘案して、段階的に決定していくこととしています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>	原案 どおり
41	95 (97)	2 余剰地の利活用による今後の展開	<p>市民福祉のための社会資源を優先し、市民の意見を聞きながら利活用をすすめること</p>	<p>余剰地の利活用については、まちに変化が生じる機会を的確に捉え、市民ニーズを把握しながら、段階的に検討します。</p>	原案 どおり



No.	ページ [( )内は 完成版]	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
42	-	その他個別の施策等に関するもの	<p>小中一貫校構想につきましては、東京都内で実際に我が子を小中一貫校に通わせた経験から、メリットもデメリットも五分五分かと感じています。既存の旧校舎や施設を無理に活用すると、建物の配置などに無理が出てくる恐れがあり、きちんと小中の分けられた校舎の新設が必要になることは明らかです。</p> <p>また、小中一貫校にいきなり全面的に移行する前に慎重に判断を、ということであれば、例えば、住民の要望通り、赤大路小は現状のまま残し、富田小のみ小中併設とした上で、一定期間を運営してみるのはいかがでしょうか。赤大路小出身の生徒と富田小出身の生徒との比較ができ、小中一貫化のメリットもデメリットもはっきりと見えてくるのではと思われま。</p> <p>のちに、児童家族および関係者にとって小中一貫のメリットの方が大きいと判断されれば、通学路の問題を解消した上で、赤大路小学校も住民の理解を得て統合すべきと思います。</p> <p>また、府立校にはなりますが、高槻支援学校についても校舎の老朽化が著しく、北大阪地震の際にも、建物躯体には響かない程度のものであったとは言え、被害は大きかったと記憶しており、何らかの対策が望まれるのではないかと思います。</p> <p>一番の理想としては、どちらも老朽化した校舎を建て替えると仮定して、バス通学が主体の支援学校の施設を富田小に移し、新たな小中一貫校を高槻支援学校の場所に移すことができるなら、最も公平で望ましい立地となるかとは思いますが。公共施設の再編にあたり、障害児向けの放課後デイやリハビリをはじめ、児童発達に関わる施設など、高槻支援学校の生徒が必要なサービスや支援が、いずれ富田地区を中心に得られることになるのであれば、それも一考に値するのではないのでしょうか。</p> <p>高槻支援学校は、茨木市内の児童生徒も通われることから、現在の富田小学校のロケーションに移ったとしても、不公平感は生まれにくいと思われる。</p> <p>また、新設する小中一貫校についても、現在の高槻支援学校のロケーションであれば、富田小学校の位置に比べれば、住民からの不満も生まれにくく、地域の防災拠点としても最良の立地ではないのでしょうか。</p> <p>支援学校については、大阪府の学校施設となるので、実際には実現の可能性の低い解決策かもしれませんが、まちづくり構想の一環として、いずれ四中を閉校し、小中一貫校を実現するのであれば、検討の余地のあるアイデアではないかと思ひ、以上ご提案させていただきます。</p>	<p>本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示していることから、原案どおりとさせていただきます。</p>	原案どおり

No.	ページ 〔()内は 完成版〕	意見項目	意見の要旨	市の考え方及び対応	対応 結果
43	—	その他個別の施策等に関するもの	まちづくりを進めるにあたって、市内の大学等と連携して、まちづくりの専門家を養成し、卒業生が地域社会(コミュニティ)のキーパーソンとなれるよう、卒業生の地元定着に取り組むことも必要ではないでしょうか。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示していることから、原案どおりとさせていただきます。	原案 どおり
44	—	その他個別の施策等に関するもの	富田小学校外周道路のうち西側、および北側は、終日の歩行者自転車専用道路として規制されています。この道路について、今後の地域開発後も歩行者自転車専用道の指定継続を望みます。府道鳥飼八丁富田線について、阪急電車踏切以南が慢性的に渋滞しており、現在でも富田小学校西側からひかり湯付近にかけての住宅地を抜け道として使用する車が多く存在します。車両通行の規制解除は、住宅地への車両流入を助長させ、交通事故増加に繋がると容易に予想されますので、地域開発後も歩行者自転車専用道として運用いただくようお願いいたします。	本構想では、地域の方々とまちの将来像を共有しながら、富田地区の特性をいかした持続可能なまちの実現を図るため、公共施設の再構築を軸としたまちづくりの考え方を示していることから、原案どおりとさせていただきます。	原案 どおり